

(第2号様式)

豊見城第 2356 号
令和4年 3 月18日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立豊見城高等学校
校長 津野 良信
(公印省略)

令和3年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和4年1月19日付け教県第1741号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

第1回	日時	令和3年 7月16日 16:00～17:00	場所	コロナウイルス感染防止 のため文書開催	出席 状況	評議員3名 参加
第2回	日時	令和3年12月21日 15:10～16:40	場所	本校小会議室	出席 状況	評議員3名 中3名 出席
第3回	日時	令和4年 3月18日 16:00～17:00	場所	コロナウイルス感染防止 のため文書開催	出席 状況	評議員3名 参加

2 学校評議員に求めた事項

・学識経験者として、元県立学校長及び県内大学業務に携わった経験・立場から現在の高校教育の現状等について、課題及びその解決への提言を受ける。
・地域住民代表として、本校近隣に在住し、保育園長として幼児教育に尽力し、地域をよく知る人材でもある。これまでの経験を踏まえた提言を受ける。
・本校元PTA会長、福祉事務行政事務に携わる視点から本校への期待、要望などを提言し、本校の教育活動を支える助言を頂きたい。以上の各分野の代表者へ、本校学校運営等に関する質疑や意見、要望・助言等を求めた。

3 学校評議員の意見

・習熟度別での授業など生徒、先生の頑張りを感じた。コロナ対策もしっかりとした結果がでている。今後も継続していただきたい。
・コロナの影響の中、工夫しながら豊翔塾、コスプレサミットなど実施されておりよかった。生徒の部活動や弁論大会での活躍、進路決定での頑張りが素晴らしい。
・生徒の進路実現で学校教育・高校教育の大方の目標は達成できると考えていい。部活動顧問の先生方を労い部活動の活性化を通し大学等への進路実現に結びつけることも大切である。

4 学校運営に反映した事項

・ホームページの更新をこまめに行い、学校から保護者や地域への情報発信の取組を積極的に実施した。
・コロナ禍において、ICT機器活用推進の校内研修及びオンライン会議を実践できた。
・スタディーアプリや保護者向けメーリングサービスの積極的な活用もできた。
・生徒主体の学校行事や学校説明会等、コロナ感染防止に努めながら実施できた。

5 課題その他

・学校評価でも明らかだが家庭学習の項目が今年度も良くないので、継続課題である。
・コロナ禍で学校休校期間もあり、当初の年間行事計画通りに進めることが出来ないことが多々あった。今後もコロナ感染状況に対応できるようICT機器活用推進を滞らせることなく学習規律・学習環境を整え、魅力ある学校づくりに引き続き取り組んでいく。